

No.380

全国整備工場の皆様へ NGP組合員200拠点がお届けする お役立ち情報

2022年11月19日発行 ■発行責任者/佐藤幸雄 ■編集・制作/(株)プロトリオス ■発行/(株)NGP 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F TEL03(5475)1200

NGP協同組合、第18回通常総会を開催

一致団結し、 業界のさらなる発展へ向けてまい進

NGP日本自動車リサイクル事業協同組 合は10月24日、ホテルグランヴィア岡 山(岡山県岡山市)において、第18回通 常総会を開催しました。本総会は新型コロ ナウイルス感染防止の観点から来賓招待を 中止するとともに、組合員における現地出 席についても任意として執り行われました。

オンライン形式ではなく、組合員が実際 に集まって開催される総会は実に3年ぶり となります。冒頭、挨拶に立った小林信夫 理事長はまず、新型コロナウイルス感染症 の拡大という未曾有の災禍においても事業 活動に尽力し、自動車整備・修理工場への 部品供給などを通じて地域社会やインフラ の維持に貢献してきた組合員に向けて、深 い感謝の言葉を伝えました。そして、 「NGPが一致団結し、全組合員が将来を見 つめ、より強く、より前へ進んでいきたい と考えています」と、NGPの強みである 結束力を活かし、さらなる発展に向けて事 業展開を進めていく方針を強調しています。

NGPは今後も各種事業を展開すること で、自動車整備・修理工場の皆さまの事業 活動を支援し続けるとともに、業界全体の 発展に貢献してまいります。

総会で使用する電力も地球環境に配慮

今回総会を開催するにあたり、NGPは、 日本品質保証機構が発行する「グリーン電 力証書」を取得しました。

グリーン電力証書システムとは、自然エ ネルギーによって発電された電力における 環境価値を、第三者機関である日本品質保 証機構の認証を得て、「グリーン電力証書」

という形で取引する仕組みのことです。グ リーン電力証書を保有することで、使用す る電気が再生可能エネルギーによって発電 されたものとみなすことが可能となります。 さらに証書の購入費用はグリーン電力発電 設備の建設・維持・拡大などに利用され、 国内グリーン電力の普及拡大に貢献するこ とができます。

岡山開催の理由

今回、会場として岡山県を選んだことに は理由があります。戦後最大級の産業廃棄 物不法投棄事件が発生した豊島において、 国がその撤去事業を支援することなどを定 めた「特定産業廃棄物に起因する支障の除 去等に関する特別措置法 (産廃特措法)」が、 来年の3月31日に期限を迎えます。豊島 が本来の自然環境を取り戻すにはまだ長い 時間が必要ですが、産廃特措法の終了によ って、「豊島事件」は一つの節目を迎えよ



挨拶する小林信夫理事長

うとしています。

豊島での環境保全活動を継続してきた NGPは、この節目に改めて豊島事件を振 り返り、SDGsに向けて取り組む意義を再 認識したいと考え、豊島に近い岡山県で総 会を開催することを決定しました。そして 翌日には、組合員有志が豊島に向かい、産 廃不法投棄現場や資料館を視察することで、 今後の活動に向けた決意を新たにしていま



NGP協同組合、静岡県での大雨被害発生を受けて水害対策本部を設置

NGP組合員一丸となって、 復興支援活動を展開

9月23日に発生した台風15号の影響で 東日本の太平洋側を中心に大雨となり、特 に静岡県では猛烈な雨が降り続きました。 内閣府の発表によると、同県内で家屋被害 が全壊6棟、半壊8棟、一部破損97棟、 床上浸水2,636棟、床下浸水3,899棟と なるなど、甚大な被害を及ぼしています。

被災された皆様に心よりお見舞い申し上 げますとともに、尊い命を落とされた方の ご冥福をお祈り申し上げます。

静岡県における大規模災害の発生を受け て、NGP日本自動車リサイクル事業協同 組合(小林信夫理事長)は10月3日に藤 原庸正副理事長を本部長とした水害対策本 部を設置しました。そして焼津市と浜松市 に拠点(ヤード)を設置し、同3日から被 災車両の引き取り作業を開始しています。

組合員各社がレッカー車や積載車を持ち 込んだヤード内では、北関東、南関東、東 海、中四国の各支部から集まったNGP組 合員と組合本部職員が一致団結して作業に 当たっており、提携保険会社などからの依 頼を受けてディーラーや修理・整備工場、 個人宅へ迅速にお伺いし、被災車両の引き 取りを進めています。

また今回の復興支援活動では、NGPが 開発した水害システムが本格運用されてい ます。従来は依頼主である保険会社などか ら被災車両の情報をFAXで受け取り、その データを本部職員が1件ずつPCに手入力 していました。水害システムはWeb上で 被災車両の情報を共有する仕組みで、依頼 主がWeb上で入力した情報をNGP本部及 び現場で確認することが可能です。さらに、 現場の作業者がタブレットで撮影した車両 写真を直接システムに登録することができ るため、本部職員及び現場の作業効率化、 さらには被災車両引き取り作業の迅速化に つながっています。

藤原本部長は「被災車両を早急に引き上 げることが、被災地の復興につながります。 一日も早い復興に協力できるよう、引き続 きNGPは支援活動に尽力していきます」と、 NGP全体で被災地復興に全力を尽くす姿 勢を示しました。



焼津ヤード。積載車には、保険会社などからの依頼 を受けて引き取った被災車両が載せられている



組合員各社が持ち込んだ積載車及びレッカー車



複数台の運搬に対応したキャリアカーなども活用し 被災車両の引き取り作業を進めている



朝礼の様子。情報を共有するとともに、被災車両引 き取り作業における注意事項を確認



損害保険会社などからの依頼を受けて、カーディー ラーや整備・修理工場、個人宅へ訪問し、迅速に被 災車両を引き取る



ヤードに到着した被災車両はフォークリフトで下ろ され、運搬してきた積載車・レッカー車はすぐに次 の現場へ。フォークリフトで被災車両を運んでいる のは、藤原庸正本部長



ヤードでは、損害保険会社からの依頼書に記載され た内容と引き取った車両の車体番号などを照らし合 わせ、誤りがないか確認する。シートが泥で汚れて おり、水害被害の激しさが伺える



タブレットでNGP水害システムに車両情報及び写真 を登録。システムの導入による作業の効率化は、ス タッフの負荷軽減だけではなく、迅速な被災車両引 き取り及び復興支援につながっている



NGPが引き取った被災車両は、10月末時点で約 1,000台

NGPアップサイクルプロジェクト、「廃車王 炭エコクック」を製作



廃車買い取りサービス「廃車王」、 エコなノベルティで廃棄物をさらに削減!

NGP日本自動車リサイクル事業協同組 合の関連会社である(株)NGPが運営する廃 車買い取りサービス「廃車王」と山陽製紙 (株)は、廃車となった自動車の「取扱説明 書」と産業廃棄物となる「梅の種」から作 った「炭再生紙」を用いて、消臭・除湿機 能がある靴用のノベルティ「廃車王 炭エ コクック」を共同で製作しました。

NGPはSDGsの取り組みの一環として、 2021年2月に「NGP アップサイクルプ ロジェクト」を起ち上げました。同プロジ ェクトの第一弾では、廃車から回収した取 扱説明書を有効な資源として活用し、子ど もたちに自動車リサイクルの流れを通じて 3Rと廃棄物抑制の大切さを勉強してもら うことを目的とした「環境教育ノート」を 製作しました。

その後、新たなアップサイクルの可能性 について継続して検討を重ねる中で、環境 教育ノートの共同製作会社である山陽製紙 (株)から、食品加工の工程で排出される 「梅の種」などの食品廃棄物を炭化させる ことで再資源化した「梅炭」を紙へ抄き込 む「Sumideco Paper (スミデコペーパ 一)」という同社独自の技術を利用して、 廃車の取扱説明書から作られた再生紙に 「梅炭」を混ぜて消臭・除湿機能を持つ炭 再生紙にすることが可能であり、その炭再 生紙から靴に入れて使用するノベルティグ ッズ「エコクック」を製作できるという提 案を受けました。

本来、廃車になった自動車の取扱説明書 は回収しなければ産業廃棄物となり、 ASR(シュレッダーダスト)として埋め 立て処分されるか、燃料として焼却されサ ーマルリサイクルされます。「梅の種」は ロンドン条約により海洋投棄が禁止された 後は、産業廃棄物として埋め立て処分され ています。

廃車王としては、本来廃棄物として処分 されるはずだった「自動車の取扱説明書」 と「梅の種」を掛け合わせる本取り組みを 通じて、廃棄せずに分別・再利用して新た な価値を持った別の製品に生まれ変わらせ る「アップサイクル」の重要性をカーユー ザーに伝えることができると考え、今回の 共同製作に至りました。

「廃車王 炭エコクック」は製造工程でも 環境に配慮しており、使用電力は再生可能 エネルギーを利用、排水は活性炭ろ過方式 排水処理設備を使用してきれいな水に還し、 紙を抄造しています。また、山陽製紙株式 会社は「再エネ100 宣言 RE Action」に 加盟し、国際的な森林認証制度の「FSC」 を取得するとともに、2022年には日本の 中小企業の製紙業としては初の「SBT 認 定」を受けています。

さらに廃車王は、カーユーザーにアップ サイクルや資源の有効活用、廃棄物削減の 大切さを身近に体感してもらうことを目的 として、「廃車王 炭エコクック」の無料配 布キャンペーンを展開します。

【キャンペーン概要】

■内容

廃車王でご成約いただいたお客様先着 5,000 名様に「廃車王 炭エコクック」を プレゼント。

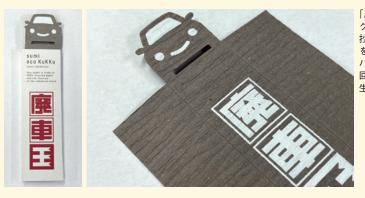
■期間

2022年11月1日~12月31日 ※先着人数に達した時点でキャンペーンは

NGPと廃車王は持続可能な社会の実現 のため、今後も自動車から発生する廃棄物 の発生抑制やアップサイクルの可能性につ いて探求を続け、SDGs、カーボンニュー トラルに貢献していきます。



「自動車の取扱説明書」と「梅の種」を活用して、消臭・除湿機能を持つ「廃車王 炭エコクック」にアップサイクル



「廃車干 炭エコクック」。 グレーの紙が、「梅炭」を 抄き込み消臭・除湿機能 を持たせたもの。外側の パッケージも、廃車から 回収した取扱説明書の再 牛紙を使用している

NGP 今月の CO。削減量



リユース部品利用に伴うCO。削減量

^{令和4年9月:} 2,063t

※自動車リサイクル部品産学共同研究 会が、「自動車リサイクル部品による環境自商低減効果の研究」の結果をもと に、NGPが販売したリユース部品の 90品目(左右ある部品を含むと115 品目)を対象に算出した数値です。



リターナブル梱包材利用に伴うCO。削減量

令和4年9月:

0.6t

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO。排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

NGP組合員 かわら版

NGP、第11回豊島環境保全・再生活動を実施

瀬戸内オリーブ基金の活動を支援

NGP協同組合は10月5・6日の2日間、 香川県豊島で環境保全・再生活動を行い ました。

第11回目となる今回は、瀬戸内オリーブ基金が栽培するオリーブの実の収穫と選果を実施しました。なお、前回と同様に新型コロナウイルス感染防止の観点から、事前に抗原検査を行い、豊島への定期船は使用せずチャーター船を利用するなど、可能な限り豊島住民と接触をしないように配慮しました。

NGPは、オリーブ収穫によるオリーブオイルなどの販売収益が瀬戸内オリーブ基金の活動資金になり、豊島での環境保全と3Rの大切さを後世に伝える活動に利用されていること、また少子高齢化が進み人手が足りていない状況であることを受けて、毎年収穫作業を支援してい

ます。今年で4年目となるオリーブ収穫では、台風の影響などで実の付きが悪い場所もありましたが、複数の場所で2日間作業し、参加者全員の協力により昨年を大きく上回る過去最大の収穫量108.65kg(昨年76.0kg)を達成することができました。

また、今回初めて豊島の活動に参加した5人のメンバーは「豊島のこころ資料館」を見学し、廃棄物対策豊島住民会議の安岐正三事務局長から「豊島事件」の歴史について説明を受けました。さらに不法投棄現場では、水質が環境基準に到達するまで今後さらに10年以上かかる見込みであることなどが語られ、事件から40年以上経過しているにもかかわらず、元の豊島に戻るまでの道のりはまだ長く「環境を壊すことは一瞬だが、環境



オリーブの実の収穫作業の様子



不法投棄現場で豊島事件について学ぶ

を元に戻すのには莫大な費用と時間を要す」ことを改めて知る機会となりました。

NGPは今後も瀬戸内オリーブ基金と協力して、「豊島事件」の悲劇を二度と繰り返さないために環境保全・再生活動に取り組んでまいります。

「NGPリユース部品を使って CO2削減キャンペーン!」は 11月30日まで!!

NGPは、カーボンニュートラルやSDGsの取り組みを広く浸透させることを目的として、自動車整備・鈑金塗装事業者を対象とした「NGP

リユース部品を使ってCO2削減キャンペーン!」を開催しています。2022年10月1日~11月30日の期間中、リユース部品活用によるCO2削減量の多い上位500社に対して「カーボンニュートラル賞」として、「環境貢献証明書」と香川県豊島(てしま)の名産「豊島オリーブセット」をプレゼントします。

NGPは今後もこれらの活動を通じて、ステークホルダーの皆さまと共に、カーボンニュートラル、SDGsの実現を目指してまいります。



締切迫る!! 「NGP年末大感謝キャンペーン」

宝くじなどの賞品が抽選で当たる「NGP年末大感謝キャンペーン」 を、11月30日まで開催しています。

NGPリサイクル部品に貼付されるギャランティシールを集めてご

応募いただいた方の中から、抽選で 1,000名の方に宝くじなどの賞品をプレゼントいたします。

応募用紙は各NGP組合員より皆様に配布するほか、当組合Webサイト(https://www.ngp.gr.jp/campaign/)からダウンロードすることも可能です。なお、ギャランティシールに付帯しているベルマークは切り離し、ぜひ地域社会貢献にご活用いただきたくお願い申し上げます。

お一人様何口でもご応募いただけます。皆様からのご応募を心よりお待ちしております。



NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209 https://www.ngp.gr.jp/

株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201 https://www.ngp.co.jp/











FSC® 森林認証紙、ノン VOC インキ (石油系溶剤 O%) など印刷資材と製造工程が環境に配慮されたグリーンプリンティング認定工場にて、再生可能エネルギー 100%で印刷。印刷会社が所有する施設や車両、購入した電力などエネルギーの製造時に排出される CO_2 全量をカーボンオフセット(相殺)した「 CO_2 ゼロ印刷」で印刷しています。